

J R 東海労働組合新幹線関西地「申」第17号
2014年10月20日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

杜撰な「運転無事故表彰」の運用に関する申し入れ

今年5月、名古屋車両所組合員が同僚の社員が4月に授賞しているにも関わらず、自身の「運転無事故表彰」を授賞していないことを担当助役に申し出た。その後何の連絡もなく6月に夏季手当、昇給通知を受け取る時に、名古屋車両所早川所長にも同じ内容を申し出ると「調べておきます」との返答であった。

7月になっても調査経過の連絡がなく、南朴木主席助役に質問すると「手続きが遅れている」との返答であった。その後ようやく9月末になって、担当助役から運転無事故の表彰状と副賞金が含まれた諸給与振込通知書を受け取った。

その後、現場長や管理者からは一連の運転無事故表彰が5ヶ月も遅れたことに対して何ら謝罪もなく、厳正に取り扱うべく運転無事故表彰を軽んじてると言える。名古屋車両所における運転無事故表彰の運用に疑念を感じざるを得ない。

よって、下記の通り申し入れるので直ちに履行すること。

記

1. 当該社員の運転無事故表彰の表彰が5ヶ月も遅れた原因を明らかにすること。
2. 5月の早い段階で本人が現場長、担当助役、主席助役らに対して受賞が遅れている理由を尋ねているにも関わらず、その調査途中においても経過が本人に知らされず、放置したままとなっていた。現場長らが行っていた調査経過を明らかにすること。
3. 本人の運転無事故継続記録原票による運転無事故表彰の受賞履歴を明らかにすること。
4. 名古屋車両所における運転無事故表彰取扱細則に則った運用に疑念を感じる。全社員の表彰経過を再調査し今後、このような事態が再発しないようその原因と対策を明らかにすること。
5. 今回の事態について現場長から何ら謝罪がなされていない。早急に本人に謝罪すること。

以上